

事務事業マネジメントシート(平成31年度実績と令和 2年度計画)

令和 2年12月24日更新

事務事業名	地域福祉推進事業		<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	2 福祉の健康	所属部	健康福祉部	課長名 後藤 章博	
	施策	6 社会福祉の推進	所属課	福祉課	担当者名 森田 健二	
	施策の柱	23 地域福祉の推進	所属班	社会福祉班	(内線) 1152	
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 1	事業連番 10430	根拠法令 社会福祉法
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 31年度で終了 <input type="checkbox"/> 31年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉とは、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域住民や社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方である。 ・平成12年の社会福祉法の改正により「市町村地域福祉計画」策定の条文が追加された。合志市では、合併後の平成20年に策定し、平成24年度に第2期、平成29年に第3期計画(H30~34)策定を行った。 ・平成21年度~23年度まで、国のモデル事業である「安心生活創造事業」を実施しており、モデル事業終了後の平成24年度以降「安心生活支援愛事業」として継続実施している。併せて、民生委員が調査し作成する「福祉票(避難行動要支援者個別計画)」の入力作業も依頼している。 ・福祉会館支援事業について、福祉会館廃止に伴い、合志地区の福祉相談業務をウィーブルに集約して実施するため、地域福祉支援事業に集約した。 ・H31年度から、地域包括ケアシステム構築に向けた国のモデル事業(地域力強化、多機関協働連携)を実施した。
【業務の流れ】	①事業計画等の打ち合わせ②委託契約の締結③委託料の支払(前金払)④地区座談会等の開催⑤検討委員会の開催⑥進捗状況の報告(随時)⑦実績報告⑧完了検査 ・地域福祉計画書5年ごとの見直し(平成29年度策定、第3期平成30~34年度)・福祉会館での地域支援事業の展開。・安心生活創造事業の展開
【主な予算費目】	報酬・時間外手当・旅費・消耗品費・印刷製本費・役員費・委託料
【意見や要望】	議員からぼっかぼか事業団体の各地区へ普及と設置を求める声がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 31年度実績(31年度に行った主な活動)(DO)	第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づく地域福祉事業を展開した。社協が行う地域福祉事業である地区社協やサロン事業を委託により実施し、福祉票(避難行動要支援者個別計画)の入力作業を依頼した。	2年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画(H30~34)に基づいた地域福祉事業を推進・実施し、併せて関係機関と協力・連携した地域包括ケアシステムの構築を目指す。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 事業: 地域福祉支援事業委託数	予算の主な増減の理由 事業: 地域包括ケアシステム構築を図るための相談支援包括化推進員の配置に伴う委託料の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民要援護者	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 → ア: 市民
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	要援護者が住み慣れた地域で安心・安全に生活できるようになる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % → ア: 生きがいがいと答えた市民の割合
*③成果指標設定の理由と2年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
第3期地域福祉計画の策定により、今後安心・安全に生活できるよう事業を展開していく。		0

(2)各指標・総事業費の推移	単位	29年度	30年度	31年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
①活動指標	ア 事業	2	1	2	2	2	2	2	2	
②対象指標	ア 人	61,652	62,343	62,338	62,707	62,925	63,600	64,614	65,500	
③成果指標	ア %	75	73.6	80	74.3	80	80	80	80	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円			12,707	12,874			
		都道府県支出金	千円			132				
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A)事業費計	一般財源	千円	26,389	21,079	21,536	12,912	14,108	31,427	31,427
		(A)事業費計	千円	26,389	21,079	21,536	25,751	26,982	31,427	31,427
		(A)のうち指定経費	千円	2,005	1,968	1,996	1,981	26	1,970	1,970
		(A)のうち時間外、特勤	千円	37	0	28	13	26	36	36
		人件費	正規職員従事人数	人	7	12	3	5	3	0
(B)人件費計	延べ業務時間	時間	714	864	150	720	150	0	0	
	(B)人件費計	千円	2,824	3,405	597	2,853	597	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	29,213	24,484	22,133	28,604	27,579	31,427	31,427	

事務事業名	地域福祉推進事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は31年度の事後評価、ただし複数年度事業は31年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①31年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 地域福祉事業の実施により達成した。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②2年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (CHECK)

地域福祉計画を基に地域福祉事業が図られており、地域のことは地域での考え方で立ち上がった「ぼっかぼか事業」や「サロン事業」が各ごとに地域広がりを見せている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>地域福祉事業を推進・実施し、併せて関係機関と協力・連携した地域包括ケアシステムの構築を目指す。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
削減			維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>地域福祉は行政のみでは不可能であり、地域力が必要となる。地域力強化のために関係団体との連携が必要となる。</p>																						